

おとなの贅沢

衣・食・住に

オーダーメイド

作り手と使い手が対話し、「世界でたった1つ」を作り上げるオーダーメイド。自分のためだけに作られた機能やデザインは、毎日の暮らしをワンランクアップさせてくれる。モノが溢れている今だからこそ、自分流のこだわりを日常に取り入れてみたい。



まずは綿密な採寸と対話から

50歳の記念にオーダースーツを作ろうと、『都丸洋服店』を訪れたAさん。フルオーダースーツをハンドメイドで仕立てる同店は、店舗に工房を併設。採寸から裁断、縫製まで一貫して行う県内では稀なテラーだ。

「職業や役職はもちろん、その方の個性に合った1着を製作するために、お客様との対話は不可欠」と話すのは、この道49年の2代目社長・都丸智雄さん。コーヒーを飲みながら交わす何気ない会話の中から、Aさんの嗜好やこだわりを汲み取っていく。

店頭には100種以上の生地が並び、サンプルブックを合わせるとその数は500種以上。裏地やボタンの種類も様々だ。「うーん、1つに決められないなあ」と言いながらも楽しげに生地やパターンを選ぶAさん。基本的なスタイルはもちろん、襟の形状や、ポケットのデザイン、ボタンの数など細部まで自分流にカスタマイズ。初心者には難しい作業にも思えるが、迷った時には決して押し付けることなく、都丸社長がアドバイスしてくれる。



シルク混のやや光沢のある生地とサイドベンツ、ダブル裾のパンツなどAさんのこだわりが詰まっている

世界で1着の
スーツを作る

自分の雰囲気や体型にジャストフィットした上質なスーツを持つことは、大人の男のたしなみとっていいだろう。そんな理想を叶えてくれるスーツのオーダーメイドを弊誌読者Aさん（前橋市在住）が体験。こだわりの1着が出来上がるまでを追った。